

case no.33

Café Kitchen ReBorN（リボン）

人が集まり、自分もお客さんも夢を実現できる場を作る

company profile

創立：2020年（令和2年）
事業内容：飲食業

ザクッと言うと **3** ポイント

1. 温めてきた夢を実現することを決断
2. 飲食業開業セミナーを活用
3. 実現した夢を継続するために

夢を実現してカフェをオープン！

人生100年時代を迎え、生き方、働き方を考える人は多い。でも、何かやりたいと思っても、一体どれだけの人が実現できるのだろう。温め続けた夢をかなえた人が居る。今年1月にオープンしたばかりのカフェキッチン「リボン」のオーナー坂本さんにお話を伺った。

阪急電車を降りるとすぐ見えるお店は、とても入りやすい印象だ。明るい店内にはあちこちに絵本が飾られ、優しいタッチで手書きされたPOPやメニューが並ぶ。一人でパソコンを開いている人、おしゃべりに興じる人、食事をする人。お客さんそれぞれが、思い思いに寛いでいる。



店舗外観

開店準備を始める



坂本さん

長年幼児教育に携わってきた。やりがいのある好きな仕事だったが、退職後の人生のこと、まだ実現していない夢のこと…友人と集まるとそんな話が出る年代になっていた。好きなものに囲まれて人が集まる場所を作りたい。得意な料理を活かしてお店を開きたい。定年したら実現できるだろうか。それからではないだろうか。

そんな思いが募り、気力体力の充実している今、少しでも早く実行したほうが良いと決断。まずは働きながらできることを考えた。一家の主婦でもあり、勤務のある日は時間が取れない。休日を利用してのセミナー参加やカフェ巡り、料理の腕磨きを始めた。職場に迷惑はかけられない。責任ある立場にあったため、心に決めたときから少しずつ、無理のないように、でも着実に仕事の引き継ぎも進めていった。

そんなときに、インターネットで中央会開催の「飲食業開業セミナー」を見つけた。すぐに参加を決めた。飲食業開業に絞ったセミナーでは、具体的な情報が得られ、同じ目的を持った仲間との出会いが、さらに気持ちを強くさせた。

開店するまで

3月末で円満退職してからは、晴れて物件探しを始めた。今のお店に出会うまで、30件以上もの物件を見て回ったという。その傍らで、中央会から、元町にあるシェアキッチン「ヒトトバ」を紹介された。キッチンを借りてお店のシミュレーションができる！何もかも一からの飲食業。場所と設備を借りて週3回、3か月間の練習期間をもった。

店舗が見つかると、次は開業に向けてのいろいろな手続きが待っていた。飲食店開業セミナーで習ったことが役に立った。店舗も自分のイメージに合わせて全面改装し、小物もひとつひとつ揃え、ついに開店に漕ぎつけた。



手作りの情報誌

お店のコンセプト



中央会 寺本と

目的を見失うことなく、強い意志をもって開店までを実現した。でも、継続することの方がより困難であり、大切だと考えている。

集めた絵本は数百冊にもなるという。絵本をテーマに、季節の食材を使ったメニューなども提供している。季節行事にまつわるメニューが登場することも。それを地域の人にも楽しんでもらいたい。高齢化の進む地域でもあり、お年寄りも気軽に立ち寄れる場所でありたい。

いつも何かテーマをもって店の雰囲気づくりをしていきたい。絵本だけでなく、趣味の旅行やトレッキングをテーマにする日があっても面白い。趣味を持って楽しんでいる人の発表の場ともなりたい。コンサートやワークショップなどを開催すれば、夢の実現を手助けすることもできるだろう。ここに来れば、何かのヒントやきっかけになったり、楽しめたり、人と出会えたりできる。そんな場所にしたい。

そうお話ししてくださる坂本さんの目は、きらきらと輝いていて、またお店に寄ってみたいと思わずにはいられなかった。

中央会は、個人の夢の実現も応援しています。

担当者からひとこと

オープンおめでとうございます。坂本さんは、2年前、中央会の飲食店セミナーに受講して頂きました。そして、この度、ようやく自分のお店を持つという長年の夢を実現されました。毎回、熱心に受講されておられました。得意なお菓子作りをいかしたカフェを開きたい、絵本に出てくるお菓子や食べ物をテーマにしたメニューのお店にしたいなど、当初から具体的なイメージを持たれていました。絵本に出てくるお菓子や食べ物・・・、想像するだけで楽しくワクワクするようなお店になると感じていました。これは、ぜひ実現してもらいたいと思っていましたので、お店のオープンのお知らせは本当にうれしかったです。



担当者：寺本 次夫